極　秘
TOP SECRET

産業用太陽光発電小冊子

株式会社ＧＬＯＢＡＬデザイン環境事業

ごあいさつ

- この度は小冊子をお問い合せいただき本当にありがとうございます。株式会社グローバルデザインの相馬広享（そうまひろたか）と申します。千葉県成田市で太陽光発電の販売をしております。この小冊子をプレゼントさせて頂こうと思いました理由につきましては5つの訳があります。

①発電事業を目的とされます方に正しい知識と仕組みを
　ご理解していただくこと。
②太陽光発電は買うのではなく事業投資であるということ。
③太陽光発電はリスクを伴う事もあるということ。
④設計・施工により売電収入が20%も変わるということ。
⑤国が推奨している環境事業により社会貢献に参加できること。

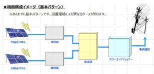
産業用太陽光発電とは

- 10kw以上の太陽光発電システムより産業用としています。250wのパネルですと40枚の設置が必要になります。面積ですと約150㎡の広さが必要になります。また10kw以上の太陽光発電システムを設置しますと発電した全ての電力を売ることができます。
  売れる金額は1kwあたり32円（税抜き）で設置後から20年間売ることができます。但しご注意頂きたいのが、このお話は、来年3月31日までに申請を行い認可をうけた方だけになります。来年度以降の買取価格・買取年数につきましては未定とされています。

- 太陽光発電システムは太陽の光より発電をしていますので季節により天候により発電量は毎月変動します。しかし年間の日射量はほぼ変わりがありませんので年間の発電量による収支の計算はしやすく思います。

- 産業用太陽光発電は二つに大きく分かれています。その分け方は太陽光発電システムが10kw以上50kw未満（低圧）と50kw以上（高圧）とされています。50kwを境にシステムの組み方・申請・事業経費・価格も変わってきますので収支のバランスを考えたシステム作りが必要です。

産業用太陽光発電仕組み



産業用太陽光発電事業に必要な機器の構成図になります。発電量を確認するモニター・監視システムなども必要（設置されていない方もいます。）

産業用太陽光発電に必要な面積

システムにより異なりますが、面積はシステム容量の10倍くらいになります。
年間発電量・年間売電収入は予想してるものであり補償するものではありません。

面積(㎡)	システム容量	年間発電量	売電収入（32円税抜）
100㎡	10kw	10,000kw	320,000円
200㎡	20kw	20,000kw	640,000円
300㎡	30kw	30,000kw	960,000円
500㎡	50kw	50,000kw	1,600,000円
1,000㎡	100kw	100,000kw	3,200,000円
3000㎡	300kw	300,000kw	9,600,000円
5000㎡	500kw	500,000kw	16,000,000円
10000㎡	1,000kw	1,000,000kw	32,000,000円

発電事業に投資される際のひとつの目安にしてください。

産業用太陽光発電は事業①

産業用太陽光発電は発電事業です。
事業者は正しい知識を身につけ定期的なメンテナンスを行うことで発電量を
落とさないこともできます。
何もしなければ発電量は落ちますし、お金を捨てていることと一緒です。
私は発電事業者（お客様）の方に工事の時から現場に来ていただき
知識を学んでいただいています。
事業者の方ができる管理方法・メンテナンスをお伝えさせていただきます。
実際に年間で20%発電量が増えています。

これまで何人ものお客様と、打ち合わせ・見積りのやりとりをさせて
いただきましたが価格が安いだけで、他の業者様とご契約なされた
お客様もいらっしゃいます。
しかし中には思うように発電ができなく困惑されている方も少なくありません。
先にもお話しさせていただいたようにこれは事業です。
ですから発電量をもとに収支が大事なのです。

産業用太陽光発電は事業②

安い金額で設置をしても発電量が低ければ損をするのは発電事業者（お客様）です。かと言って高い値段で設置をしても多く発電することはありません。

太陽光発電システムの適正な価格は、事業者の方がより多く発電できるシステムで収支のバランスを考えた設計が必要になります。事業を始める前にしっかりとした知識を学んでください。
事業ですから様々な税金もかかりますし機械の修繕費も必要です。

私の仕事は、お客様が事業者になるお手伝いだと考えています。
他の事業に比べ収支の見通しがつきやすく、20年も安定した収入が得られる事業としては他にないのではないでしょうか？

産業用太陽光発電事業資料①

- 資料例です。このような資料を作成させていただき収支のバランスを確認します。

産業用太陽光発電リスク

- 天候のリスクがあります。ここ数年、国内だけでなく海外でも異常気象が数多くあります。これは温暖化による異常気象と取り上げられていますが太陽光発電事業にも大きく関わりがあります。急な気温の上昇により思ったような発電ができなくなる現象もおこります。また突風による竜巻・落雷・積雪・豪雨・なども十分考えられます。このような天災は施工と保険でカバーして行くことしかできません。
- 機器故障のリスク。太陽光発電の要となるパワーコンディショナは電子機器ですので想定寿命は10年～15年と考えられます。20年の事業ですからパワーコンディショナを修理・交換は必ずおこります。また10年以内の故障も十分考えられますので修繕費用とし売電収入よりプールしておく必要があります。
- システムとしての寿命もあります。20年後に買取り制度が終わり売電先がないということになりますと撤去することも考えておかなければなりません。（現在では20年後の売電先は決まっておりません）

設計・施工による売電収入の変動

- 産業用太陽光発電は設計から始りますが、設計の段階で発電量が大きくことなります。太陽光発電は南向きに設置すると聞いたことはありませんか？半分は誤解です。南向きではなく日射量が一番多くとれる方角が正解です。これは関東・関西でも異なります。近隣でも太陽光発電システムを多く見かけますが、異なる方角に設置している太陽光発電システムが多々見かけられます。非常に残念です。また設置角度も関係してきます。これだけで10%～20%も発電量が変わるのです。お客様の多くはパネルメーカー・価格だけにこだわりがありますが、実はシステム設計が一番重要だということをご理解いただき発電事業を成功して頂きたいと思います。

- 施工にもコツがあります。システム設計がいくらよく出来ても送電ロスがあったのでは意味がありません。いかに効率よく発電電力を送電し売電収入につなげるか？これが成り立たなければ発電事業として、成功とはいえません。

- 施工ポイントはお問い合せください。

売電収入データー資料②

1年間の発電データーです。メーカー数値を平均で20%越えていることがわかります。

年間で20%の発電量が変わると
売電収入を大きく変わってきます。
メーカー予想ですと年間
147,136kwhになりますから
147,136kwh×42円＝6,179,712円
の収入になります。
実質の発電量は168,055kwhになりますから168,055kwh×42円＝
7,058,310円の収入になり年間で
878,598円も収入が増えています。
20年間の差額で計算しますと約
17,571,960円もの
差がでてきます。
産業用太陽光発電は設計と施工で
これだけの差が出てしまいますの
でご注意！

環境事業による社会貢献

- 太陽光発電はエコロジーなシステムです。地球温暖化の原因でもある温室効果ガスの排出量を削減します。原料採鉱・精製から廃棄に至るまでのライフサイクル中の排出量を含めても、非常に少ない排出量で電力を供給することができます。また、稼働中であっても燃料が不要で、温室効果ガスを排出しません。
- 1kwhあたりの温室効果ガス排出量はCO2に換算して17～48g-CO2kwhと見積もられます。これに対して現在の日本の電力全体の平均は360-CO2kwh、また化石燃料による火力発電の全体平均は690g-CO2kwhと太陽光を大きく上回る数値となっています。出力が変動するため、火力発電を完全に代替えすることは難しいですが、発電した分だけ化石燃料の消費量を減らすことができます。その他の面でも環境に優しく、より安全な発電方式です。
- 太陽光発電は温暖化対策手段としてもエネルギー源としても、既に実用的な性能を有しています。

これからの産業用太陽光発電

- FIT（再生可能エネルギー買取制度）が始まり3年目になりますが、この制度は3年間のプレミア価格で行うと政府の発表でした。来年3月31日でこの制度は見直しがされることが予想されます。発電事業を計画されているお客様は早急に申請が必要になります。さらに東京電力が電力の受け入れができなくなる可能性があります。（電力を売電できない）

- 2016年より低圧電力の自由化がはじまります。この政策により他の民間企業が電力供給事業に名乗りをあげています。産業用太陽光発電でも電力の売電先を選ぶことが可能になると考えられます。

- 消費税の増税について、現在8%の消費税ですが、これから10%に増税される事が予想されます。産業用太陽光発電は発電事業ですから年間の売電収入が1000万円を越えなければ消費税も収入になります。

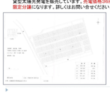
産業用太陽光発電事業者に必要なこと

- この小冊子をご覧いただきありがとうございます。少しでも皆様のお役にたてればと思い作らせていただきました。産業用太陽光発電は簡単なシステム構成ですが、皆様にご理解と知識をもっていただき発電事業に参加していただきたいと考えています。ここではお伝えできない施工方法やメンテナンスなど書ききれないことがありますが参加してみたい・お話を聞いてみたいお客様はお問い合わせください。

- 今回小冊子に記載させていただいた内容は・・・
  ①産業用太陽光発電には期日があるということ。（平成27年3月31）
  ②産業用太陽光発電は発電事業であるということ。
  ③発電量・売電収入は設計・施工により10%～20%アップすること。
  ④メンテナンスにより発電量を落とさないこと。
  ⑤リスクもあるということ。

分譲用太陽光発電54.88kwを販売中

- 土地や屋根に事業ができるスペースがない方には、低圧54．88kwの賃貸型太陽光発電を販売しています。売電価格36円で申請済みの6区画限定分譲になります。詳しくはお問い合せください。



・住所　千葉県多古町
・売電価格　36円（税抜）
・連係可能日　平成27年6月以降
・土地条件　賃貸（20年契約）
・施工業者指定あり
・システム設計変更可

・年間売電収入　約1，975，680円
・土地賃貸年間　150，000円
・販売価格　お問い合せください

お問合せ　TEL　0476（35）5117
FAX　0476（35）5118　MAIL　info@e-globaldesign.co.jp
株式会社グローバルデザイン環境事業
千葉県成田市小菅1370－9
www.e-globaldesign.co.jp